

本日午後四時、重慶の外國財産が襲つた損害に關する詳細調査によれば、英佛獨各國領事館並にアメリカのフレンド・教會も爆彈を受けてゐる。イギリス外交使節の事務所及び同國領事館は共に爆撃せられ、外人一名が負傷し支那人の館員十一名が殺され更に同數の負傷者を出してゐる。フランス領事館には爆彈二箇が命中し一箇は不發であつたが他の一箇は門に命中し軽い損害を與へた。又ドイツ領事館の周圍に起つた火災は喰止められたが構内に軽い損害を與へた。

フレンド・教會は完全に破壊せられた。支那側が各國領事館の附近に高射砲を置いたといふ日本側の報道を斷然否定し、支那側高射砲隊が其の附近にあるかないかは各國の領事館員自身が最もよく知る所であるに指摘し、重慶は外國財産の多い支那の首都であるから、外人の生命及び財産を保護すべき義務を有する支那當局は高射砲を領事館附近に設置することを控へたと附言してゐる。孔祥熙は緊急救済の爲に百萬圓の支出を認めたる外に防空道路擴張の爲に更に百萬圓を計上した。全國救済委員會の副議長許世英は避難民救済指導

極

内閣情報部五・一一 情報第七號

一 成都支那中央通信社報（七日）（朝鮮總督府遞信局轉取）

重慶報

(1) 五月四日の大爆撃で重慶の外國財産が襲つた損害に關する詳細調査によれば英佛獨各國領事館並にアメリカのフレンド・教會も爆彈を受けてゐる。イギリス外交使節の事務所及び同國領事館は共に爆撃せられ、外人一名が負傷し支那人の館員十一名が殺され更に同數の負傷者を出してゐる。フランス領事館には爆彈二箇が命中し一箇は不發であつたが他の一箇は門に命中し軽い損害を與へた。又ドイツ領事館の周圍に起つた火災は喰止められたが構内に軽い損害を與へた。

フレンド・教會は完全に破壊せられた。支那側が各國領事館の附近に高射砲を置いたといふ日本側の報道を斷然否定し、支那側高射砲隊が其の附近にあるかないかは各國の領事館員自身が最もよく知る所であるに指摘し、重慶は外國財産の多い支那の首都であるから、外人の生命及び財産を保護すべき義務を有する支那當局は高射砲を領事館附近に設置することを控へたと附言してゐる。孔祥熙は緊急救済の爲に百萬圓の支出を認めたる外に防空道路擴張の爲に更に百萬圓を計上した。全國救済委員會の副議長許世英は避難民救済指導

の爲昨日飛行機で香港より當地に到着した。七ヶの避難民收容所が重慶郊外に設置せられ避難民には再び獨立出来る様になる迄政府より今後三、四箇月間一人宛毎月三、四元を支給される筈である。一方防空當局は消防隊、擔架隊、埋葬班及び防空壕を増員、増設し、又郊外に臨時病院を設置し市民の避難工作を強化してゐる。

(ロ)日本機八十六機は昨日南支廣東省、中支湖北省、東支浙江省、西北支陝西省を含む支那各地に亘つて三百箇の爆弾を投下した。廣東省西部西江方面の高明は日本爆撃機二十二機の爆撃を受け百箇以上の爆弾を投下せられて甚大なる損害を蒙つた。會て廣東省東部の繁華なる開港場であつた汕頭も亦ひどく襲撃せられ連續四日間に亘る猛烈な爆撃で商業は全く停頓し、特に昨日は死傷者百四名以上に達した。甚大なる被害を受けたもう一つの都市は陝西省四川省境附近の南鄭で日本機十二機が百一箇の爆弾を投下し少くとも三十名以上を死傷せしめ百戸以上の家屋を破壊した。又日本機は南支福建省廈門附近の泉州を二回爆撃し家屋四十戸を破壊し、一方日本爆撃機五十機は廣東省の各地に大規模な爆撃を行つた。

(註) 尙右の外に

一、香港新領域の墾墾工事

一、英大使の成都訪問

一、上海の孫文大總統就任記念日

等のニュースありたり。

秘

内閣情報部五・一一 情報第八號

一、上海ロイテル特報(七日)——朝鮮總督府遞信局總取)
湖北省襄陽報(ロイテル特派員三日發)

日本軍が西方への進撃を開始した湖北省北部で二、三週間以内に激戦が起る模様である。支那側報道によれば進撃のため有力な援軍が到着したばかりであるといはれる、支那側はあらゆる軍勢をもつて日本側の企圖を阻止せんと決意してゐるもの様である。余は漢口西北方百哩隨縣(隨州府)附近の支那側前線を訪ねて襄陽へ歸還したところである、隨縣は支那側前線の北側にあり、支那側の線は隨縣より西南方へ走り漢水の數ヶ月前日本軍が占領した安陸(鐘祥)に至り、それから漢水に沿つて南下してをり、漢水の西岸は支那軍、同じく東岸は日本軍が保持してゐる。支那軍は機關銃などの小型武器については裝備優秀であるが、例の如く大砲に著るしく不足してをり、北側の支那軍は山砲以上に有効な砲を有してゐない、一方日本軍は六吋砲まであらゆる口径の砲を充分に備へてゐる。しかし隨縣方面で行動してゐる日本軍の背後には三千の遊撃隊がをり、之等は日本側の警備手薄な地區を行つたり戻つたりしてゐる、正規兵、不正規兵、武装農民よりなるこの軍勢の攻撃價値は大したことはあるまいが、この効果は決して無視し得ないものである。五月一日余が前線に到着した時、日